

V I E W

発行責任者 湊 伸一
発行編集者 教 宣 部

「構内駐車場からの締め出し」「強引な5S」！！ 社員としての「意志表示」が必要な時ではないですか？！

いよいよ8月を迎え、会社が「通勤してくる社員の鳥飼基地構内での駐車・駐輪を認めない」とする10月まで2ヶ月を切りました。社員の皆さん、「ただただ社員の通勤を不便にするこの施策」が実施されたら「通勤がどれだけ不便になる」か今一度想像してみてください。「東門の外の離れた駐車・駐輪場に車を止めて歩いて構内に入りシャトルバスの時間まで待つ時間をかけて交検の庁舎に出勤する」「近隣地区から自転車やバイクで西門から入って交検庁舎に来ている社員はそれができなくなる（もし西門の外に駐輪場を整備しても東門と同じように不便）」「せっかく鳥飼基地の近隣に住んでいるのに通勤経路の変更を余儀なくされるような社員もいる」「交通障害時にはJR千里丘駅から歩いてでも出勤せよというくせに、社員の通勤時間を増やすのは出勤遅延防止に逆行する」「そもそも意味のないこの施策は誰の発案なのか」など職場の中では社員の不満が渦巻いています。

関西支社は「労使協議」はやらないと言っています！

ここは労働組合の力を借りなくてはと、私たちも所属する労働組合を通じて「従来通りの扱いにするようにと6月21日に関西支社への申し入れ」を行いました。会社は6月30日に早々と「お知らせとして掲示した通りで労使協議するような事柄ではない」と突っぱねています。

社員の皆さん！労働組合でも無理だとしたら、ここは社員としての「意志表示」を考えるべきではないでしょうか。「駐車場問題」以外でも、最近「5Sで共用場所での不要な私物の撤去」だとして「庁舎2階の洗濯場に置いてあった社員の洗濯用洗剤まで撤去」したり、「社員が体力づくりのために利用している筋トレコーナー」を縮小して使えなくしたり、最近の会社の強引なやり方は目に余ります。

「本来業務」と「協力している事柄」は別！

私たちは「飯の種」として日々「お客様によい品質の車両を提供すべく交番検査を施工」しています。「ゴールデンハンマー」など若手社員に責任だけが重くなり賃金や手当の見合わない「施策」もありますが、それでも暑い中作業しています。それはやって当たり前なんです。しかし、それ以外のQCや改善提案などの「自主活動」や「各種プロジェクト」はあくまで「社員が会社に協力してやっている事柄」です。昼休みも何かしら「活動」して午後の作業のかかりに走って現場に降りてきている社員もよく見ますが、これが「安全最優先」ですか？言っていることとやっていることが違うんじゃないですか。

社員の皆さん！まだ会社に「協力」しつづけますか？！